

学校安全指導者研修会

いのちてんでんこ

～日々の訓練による「釜石の奇跡」～

2024年11月14日(木)

陸前高田市在住 村上洋子
(震災当時 釜石東中学校 副校長)

これから話すこと

- 1 いのちてんでんこ
自分のいのちを大切にすること
- 2 釜石東中学校の生徒が取り組んでいたこと
東日本大震災の時の行動
- 3 本日の講演を聴いた方に期待すること

普段の生活こそが大切
自分のいのちを大切に
人のために生きること

1 いのちてんでんこ



地震(つなみ)

かみなり



火事



おおやまじ(大山風)
=台風 (おやし)



地震・雷・火事・おやじ(台風)

自分の命を守る(いのちてんでんこ)

1 危険から逃げる!! 率先避難者

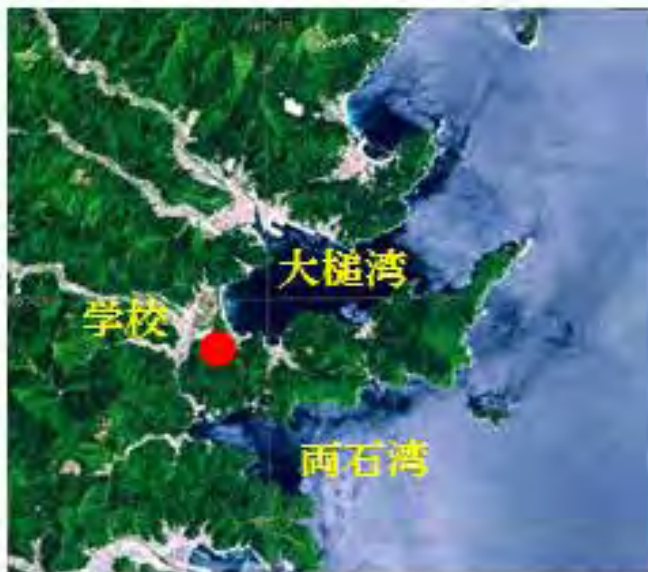
- ・避難訓練を大事に
- ・災害時のことを想像して

2 過去のできごとを知る

3 自然に感謝する!!

- ・私たちに恵み(たべもの)を与えている

2 釜石東中学校の取り組みについて



釜石市 / 釜石東中学校 釜石市 釜石市
釜石市 - 釜石市 - 釜石市
釜石市 - 釜石市 - 釜石市



釜石の津波の歴史

- 1 貞観11年（869）5月26日 大地震・大津波発生溺死者多し
- 2 慶長16年（1611）11月 2日 大地震・大津波・数多く死す
- 3 元和2年（1616）10月28日 朝よりたびたび地震、大津波。老若男女大分死す
- 4 延宝5年（1677）3月12日 夜大地震、大汐寄せ、各地に被害あり
- 5 寛政5年（1793）1月 7日 大地震3回、大津波。
- 6 安政3年（1856）8月23日 午の下刻（1時）震度5 大潮押し寄せ津波
- 7 明治29年（1896）6月15日 宮古沖M7.6 震度2～3（ゆるゆる地震）
各地で被害甚大
- 8 明治30年（1897）2月 震度5津波なし 8月震度4津波被害軽微
- 9 昭和 8年（1933）3月 3日 釜石沖M8.3 震度5 三陸大津波、被害甚大
- 10 昭和27年（1952）3月 4日 十勝沖地震 津波があるが干潮時で被害僅少
- 11 昭和35年（1960）5月24日 チリ地震M9.5 津波襲来三陸沿岸3～5, 6m
- 12 昭和43年（1968）5月16日 十勝沖地震M 大槌湾津波推定2, 5m
- 13 平成23年（2011）3月11日 牡鹿半島沖M9.0 東日本大震災
岩手県沖から茨城県沖に被害甚大

実践例紹介1

「EAST-レスキュー」

～地域と共に育む防災教育～

岩手県・釜石市立釜石東中学校

全校防災学習

「EASTーレスキュー」

East:東中生

Assist:手助け

Study:学習する

Tsunami:津波

2 2010年度の活動内容

【防災教育のねらい】

1 自分の命は自分で守る

2 助けられる人から

助ける人へ

3 防災文化の継承

防災オリエンテーション

E
A
S
T
レ
ス
キュー
ー

第1弾 小中合同避難訓練

第2弾 宮古工業高校から学ぶ

第3弾 安否札1000枚配布

第4弾 防災ボランティアテスト

第5弾
EASTレスキュー隊員1級合格

第1弾 小・中合同避難訓練



災害時を想定し、毎回、避難訓練の内容を変えることで、生徒の意識を変えることにつながる。

落ちてこない・倒れてこない・移動してこない・・・基本行動を身につける

第1弾 小・中合同避難訓練

めざまし!!
防災レスキュー隊員一級!!



助けられる人から
助ける人への
第一歩



6月4日(月) 13:30～15:00
おこなった小・中合同避難訓練の模様を新聞に掲載しました。
下年度に続く2回目の避難訓練として、全校生徒のみならず、真剣な姿勢がみられました。
万一の災害発生に、落ち着いて行動できるように、引き続き、避難訓練に取り組んでまいります。



第2弾 宮古工業高校から学ぶ



第4弾 防災ボランティアースト

- 生徒会・委員会活動
- 全校縦割り10グループ
- 専門家の話を聞く機会
- 体験活動中心
- 地域の方との交流



【応急処置】

H22防災ボランティアースト内容

防災マップ作り	地区長さん (川原地区)	防火練習	消防団 第6分団
救急搬送	釜石消防署	フィールドワーク1 (自主防災・史跡)	地区長さん (両石地区)
応急処置	地区安全奉仕団	フィールドワーク2 (津波記念碑)	地区長さん (片岸地区)
水上救助	赤十字安全奉仕 団	風水害	盛岡気象台
炊き出し	宝来館(女将) 箱崎漁協女性部	海難救助	釜石海上保安部

第5弾

EASTレスキュー隊員1級合格

認定証

第8号

EASTレスキュー隊員1級

釜石市立釜石東中学校

3年B組35番 梁田麻佳

あなたは、釜石東中学校において、津波防災について学び、助けられる人から助ける人に成長しました。ここにその功績を認め、EASTレスキュー隊員1級を認定します。隊員として今後もぬくもりのある活動を期待します。

平成22年 8月30日

釜石市立釜石東中学校

校長 平野 憲



・ボランティア活動への関心と意欲の高揚

・地域の活動への積極的な参加

東日本大震災発生



なにやってんだ!
急げ!!



今日は
ほんとに
避難た
よね?

車は、迎えにきた保護
者もの。学校に向いて
いる



ここに映っている大人
はすべて地域の方。
小中学生を守ろうとし
て集まってきた。
中学生は小学生の手
を握っている。

【ごさいしょの里から避難】15:10頃



なかないで
お姉ちゃんと
にげよう!

車に気をつけろ!
川の近く
いくなよ!!

【山崎デイケア③】



鵜住居の町が津波に全部のまれていく。蜘蛛の子を散らすように逃げる小・中学生。



【最初の避難場所】震災後





釜石東中

鵜住居小

防災センター



体育館側からみた釜石東中校舎

鶴住居小学校 3階に突き刺さる車



安否札が3月11日活用された

玄関に張り出された安否札
※ある人は、玄関の安否札を見て、
家に入らず避難し無事

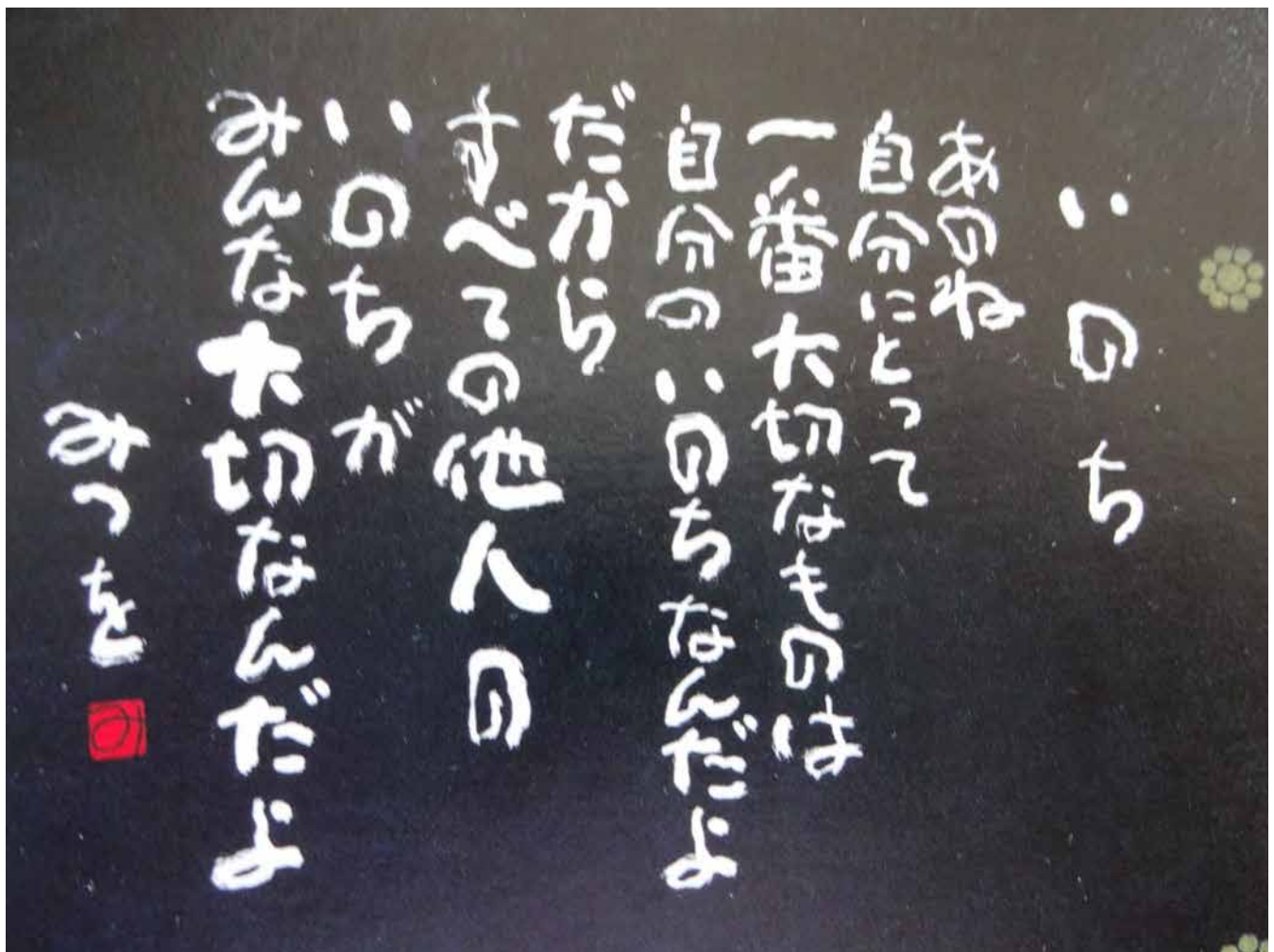


避難行動を左右するもの

- 1 逃げる姿勢(命てんでんこ・・・死なないこと) 率先避難者
想定にとらわれない。自分が判断する。
100回逃げて、100回津波が来なくても101回目も逃げる！！
- 2 自分の命を守る(生きること)
自分の命があれば他の人助けられる
安心安全な場所はない。災害をやり過ごす姿勢づくり。
自然の中に生きる人間であることを意識する。
避難訓練は、常習化しない。時と場を想定する。
- 3 仲間づくり(地域・学校・保護者・行政で連携する)
1人ではなにも出来ない事を知る。行政だけに頼るのは、NG！
自分たちのことは、自分たちがする。
入学式に毛布1枚とペットボトル1本の米持参。卒業式に返却。

皆さんに期待すること

- 1 命を大切に生きること
- 2 仲間とともに助け合い生きること
- 3 人のために生きること 夢の実現
- 4 日本(世界)にはたくさんの災害が起きていることを知ること
- 5 日々の生活を大切に幸せに生きること



紹介した本

- 1 つなみてんでんこ はしれ!上へ!
指田和著 ポプラ社 1.300円
- 2 命を守る教育
片田敏孝著 PHP 1.200円
- 3 おもかげ復元師の震災絵日記
笹原留依子著 ポプラ社 1.200円
- 4 大災害と子どもの心
富永良喜著 岩波ブックレット 500円